

2.2 コンクリート部材の変状

変状の種類
⑥ ひびわれ
⑦ 剥離・鉄筋露出
⑧ 漏水・遊離石灰
⑨ うき

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリート部材の表面にひびわれが生じている状態をいう。



写真番号 S-6. 1. 1

説明
頂版にひびわれが生じた例。

(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号 S-6. 1. 2

説明
主梁（I桁）側面の間詰め部にひびわれが生じた例。

(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 S-6.1.3

説明
谷側柱にひびわれが生じた例。
(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号 S-6.1.4

説明
山側受台に格子状のひびわれが生じた例。
(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)

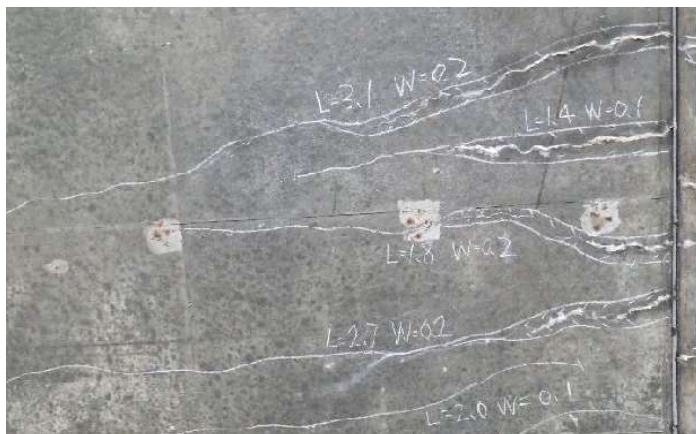


写真番号 S-6.1.5

説明
谷側受台にひびわれが生じた例。
(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ ひびわれ以外に、コンクリートの剥落や鉄筋の露出など、その他の変状が生じている場合には別途それらの変状としても扱う。
- ◆ PC定着部においては当該部位でのみ扱い、当該部位を含む主梁等においては当該部位を除いた部材において評価する。
- ◆ PC定着部においては「ひびわれ」のほか、「定着部の変状」としても扱う。



写真番号	S-6.2.1
説明	
頂版の目地付近から遊離石灰を伴うひびわれが生じている。	
(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
この場合、「ひびわれ」, 「漏水・遊離石灰」の2項目として扱う。	



写真番号	S-6.2.2
説明	
主梁のPC定着部にひびわれが生じている。	
(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
主梁や横梁などのPC定着部においては、当該部位で評価する。	

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 S-6.2.3

説明

横梁に鉄筋露出を伴うひびわれが生じている。

(注：ひびわれをチョークでマーキングしている)

この場合、「ひびわれ」,
「剥離・鉄筋露出」の2項目として扱う。



写真番号 S-6.2.4

説明

横梁においてうきが生じた部分の境界部にひびわれが生じている。

表面の剥離境界だけがコンクリートひびわれとなっている場合、「うき」として扱い、「ひびわれ」として扱わない。

ただし、部材内部に繋がっている可能性がある場合には、「ひびわれ」としても扱う。



写真番号 S-6.2.5

説明

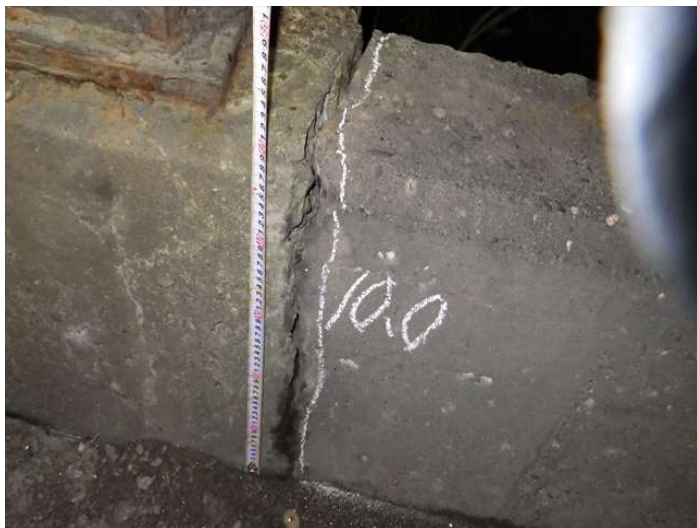
谷側柱の保護塗装にうきを伴うひびわれが生じている。

表面の塗装のみにひびわれが生じている場合には「ひびわれ」ではなく、「補修・補強材の変状」として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号	S-6.2.6
説明	
繊維シート巻き立てした谷側柱にうきを伴うひびわれが生じている。 この場合、「ひびわれ」, 「うき」, 「補修・補強材の変状」の3項目として扱う。	



写真番号	S-6.2.7
説明	
シェルターの下部構造にひびわれが生じている。 (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) この場合、「ひびわれ」とし、「亀裂」としては扱わない。	

—

写真番号	—
説明	
—	

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「ひびわれ」の変状評価基準に基づいて行う。
- ◆ 変状程度の評価区分は、変状程度に関する「最大ひびわれ幅」と「最小ひびわれ間隔」の一般的状況から判断した規模の大小組合せによることを基本とする。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	最大ひびわれ幅に着目した程度	最小ひびわれ間隔に着目した程度
a	変状なし	
b	小	小 (間隔が大)
c	小	大 (間隔が小)
	中	小 (間隔が大)
d	中	大 (間隔が小)
	大	小 (間隔が大)
e	大	大 (間隔が小)

2) 要因毎の一般的状況

a) 最大ひびわれ幅に着目した程度

区分	一般的状況
大	ひびわれ幅が大きい (RC 構造物0.3mm以上, PC 構造物0.2mm以上)。
中	ひびわれ幅が中位 (RC 構造物0.2mm以上0.3mm未満, PC 構造物0.1mm以上0.2mm未満)。
小	ひびわれ幅が小さい (RC 構造物0.2mm未満, PC 構造物0.1mm未満)。

b) 最小ひびわれ間隔に着目した程度

区分	一般的状況
大	ひびわれ間隔が小さい (最小ひびわれ間隔が概ね0.5m未満)。
小	ひびわれ間隔が大きい (最小ひびわれ間隔が概ね0.5m以上)。

(Ⅲ)変状程度の評価										
(2)評価例(1/9)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center;">【RC】</td> <td style="width:33%; text-align: center;">評価 b</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> </table>	【RC】	評価 b							
【RC】	評価 b									
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:33%;">S-6.3.1</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td colspan="2">頂版 (SP-C-Ds)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2"> <ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.1		部材名	頂版 (SP-C-Ds)		備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	S-6.3.1									
部材名	頂版 (SP-C-Ds)									
備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)									
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:33%;">S-6.3.2</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td colspan="2">谷側柱 (SP-C-Co)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2"> <ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.2		部材名	谷側柱 (SP-C-Co)		備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	S-6.3.2									
部材名	谷側柱 (SP-C-Co)									
備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)									
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:33%;">S-6.3.3</td> <td style="width:33%;"></td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td colspan="2">谷側受台 (SB-C-Bs)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="2"> <ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.3		部材名	谷側受台 (SB-C-Bs)		備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	S-6.3.3									
部材名	谷側受台 (SB-C-Bs)									
備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)									

(Ⅲ)変状程度の評価

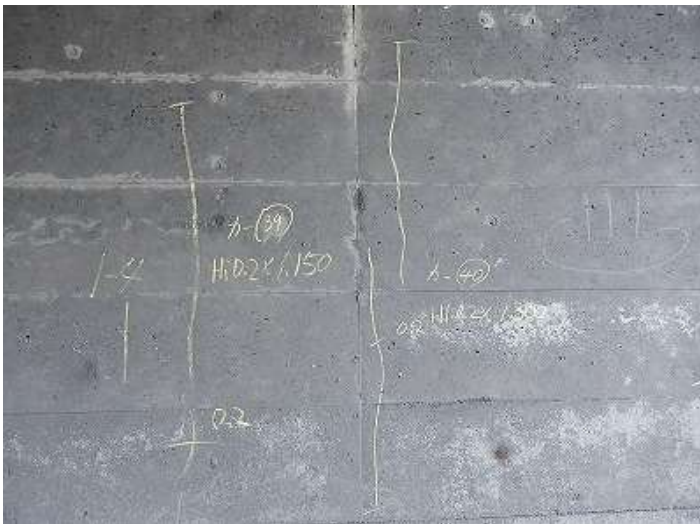
(2)評価例(2/9)

【RC】

評価 c



写真番号	S-6.3.4
部材名	頂版 (SP-C-Ds)
備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号	S-6.3.5
部材名	山側壁 (SP-C-Sw)
備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号	S-6.3.6
部材名	谷側柱 (SP-C-Co)
備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(3/9)

【RC】

評価 d



写真番号	S-6.3.7
部材名	頂版 (SP-C-Ds)
備考	<ひびわれ幅の程度> (中) : 幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)






写真番号	S-6.3.8
部材名	谷側柱 (SP-C-Co)
備考	<ひびわれ幅の程度> (中) : 幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号	S-6.3.9
部材名	山側受台 (SB-C-Bs)
備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (小) : 間隔が大きい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)

コンクリート部材の変状	⑥ひびわれ	10 / 15
-------------	-------	---------

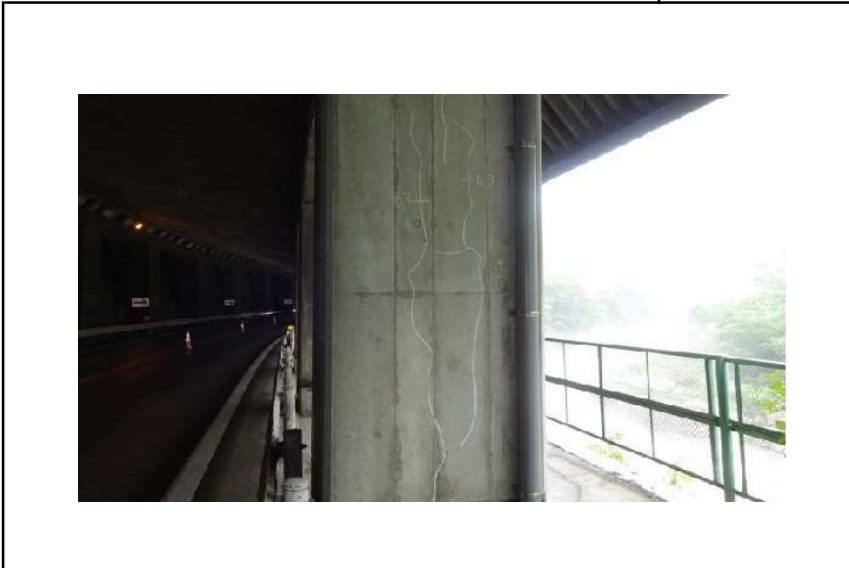
(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(4/9)	【RC】 評価 e						
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>S-6.3.10</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版, 土留壁 (SP-C-Ds, SL-C-Rw)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.10	部材名	頂版, 土留壁 (SP-C-Ds, SL-C-Rw)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)
	写真番号	S-6.3.10					
	部材名	頂版, 土留壁 (SP-C-Ds, SL-C-Rw)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)					
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>S-6.3.11</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (SP-C-Ds)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.11	部材名	頂版 (SP-C-Ds)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)
	写真番号	S-6.3.11					
	部材名	頂版 (SP-C-Ds)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)					
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>S-6.3.12</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>横梁 (SP-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.12	部材名	横梁 (SP-C-Cr)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)
	写真番号	S-6.3.12					
	部材名	横梁 (SP-C-Cr)					
	備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)					

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(5/9)

【RC】

評価 e



写真番号	S-6.3.13
部材名	谷側柱 (SP-C-Co)
備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号	S-6.3.14
部材名	谷側受台 (SB-C-Bs)
備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)



写真番号	S-6.3.15
部材名	土留壁 (SL-C-Rw)
備考	<ひびわれ幅の程度> (大): 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大): 間隔が小さい (注: ひびわれをチョークでマーキングしている)

(Ⅲ)変状程度の評価					
(2)評価例(6/9)	【PC】	評価	b		
		写真番号	S-6.3.16	部材名	主梁 (SP-C-Mg)
		備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)		
		写真番号	S-6.3.17	部材名	谷側柱 (SP-C-Co)
		備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)		
—		写真番号	—	部材名	—
		備考	—		

(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(7/9)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center;">【PC】</td> <td style="width:66%; text-align: center;">評価 c</td> </tr> </table>	【PC】	評価 c				
【PC】	評価 c						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:66%;">S-6.3.18</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>主梁 (SP-C-Mg)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.18	部材名	主梁 (SP-C-Mg)	備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)
写真番号	S-6.3.18						
部材名	主梁 (SP-C-Mg)						
備考	<ひびわれ幅の程度> (小)：幅が小さい <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:66%;">S-6.3.19</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>山側柱 (SP-C-Co)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.19	部材名	山側柱 (SP-C-Co)	備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)
写真番号	S-6.3.19						
部材名	山側柱 (SP-C-Co)						
備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">写真番号</td> <td style="width:66%;">—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>—</td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名	—	備考	—
写真番号	—						
部材名	—						
備考	—						

(Ⅲ)変状程度の評価								
(2)評価例(8/9)	【PC】	評価 d						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>S-6.3.20</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>主梁 (SP-C-Mg)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.20	部材名	主梁 (SP-C-Mg)	備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	S-6.3.20							
部材名	主梁 (SP-C-Mg)							
備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)							
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>S-6.3.21</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>谷側柱 (SP-C-Co)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.21	部材名	谷側柱 (SP-C-Co)	備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	S-6.3.21							
部材名	谷側柱 (SP-C-Co)							
備考	<ひびわれ幅の程度> (中)：幅が中位 <ひびわれ間隔の程度> (大)：間隔が小さい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)							
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>S-6.3.22</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>谷側柱 (SP-C-Co)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.22	部材名	谷側柱 (SP-C-Co)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	S-6.3.22							
部材名	谷側柱 (SP-C-Co)							
備考	<ひびわれ幅の程度> (大)：幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (小)：間隔が大きい (注：ひびわれをチョークでマーキングしている)							

(Ⅲ)変状程度の評価								
(2)評価例(9/9)	【PC】	評価 e						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>S-6.3.23</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>主梁 (SP-C-Mg)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.23	部材名	主梁 (SP-C-Mg)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	S-6.3.23							
部材名	主梁 (SP-C-Mg)							
備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)							
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>S-6.3.24</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>谷側柱 (SP-C-Co)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td> <ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている) </td> </tr> </table>	写真番号	S-6.3.24	部材名	谷側柱 (SP-C-Co)	備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)	
写真番号	S-6.3.24							
部材名	谷側柱 (SP-C-Co)							
備考	<ひびわれ幅の程度> (大) : 幅が大きい <ひびわれ間隔の程度> (大) : 間隔が小さい (注 : ひびわれをチョークでマーキングしている)							
<p style="text-align: center;">—</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>—</td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名	—	備考	—	
写真番号	—							
部材名	—							
備考	—							

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリート部材の表面が剥離している状態を剥離、剥離部で鉄筋が露出している場合を鉄筋露出という。



写真番号 S-7. 1. 1

説明
頂版に剥離・鉄筋露出が生じた例。



写真番号 S-7. 1. 2

説明
頂版端部に剥離・鉄筋露出が生じた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 S-7.1.3

説明
主梁に剥離・鉄筋露出が生じた例。



写真番号 S-7.1.4

説明
横梁に剥離・鉄筋露出が生じた例。



写真番号 S-7.1.5

説明
山側壁に剥離・鉄筋露出が生じた例。

(I)一般的性状・変状の特徴



写真番号 S-7.1.6

説明
谷側柱に剥離・鉄筋露出が生じた例。



写真番号 S-7.1.7

説明
谷側柱の柱基部に剥離・鉄筋露出が生じた例。

写真番号 —

説明

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ 剥離・鉄筋露出とともに変形・欠損（衝突痕）が生じているものは、別途、それらの変状としても扱う。
- ◆ 「剥離・鉄筋露出」には露出した鉄筋の腐食、破断などを含むものとし、「腐食」、「破断」などの変状としては扱わない。



写真番号 S-7.2.1

説明

頂版に腐食した鉄筋が露出している。

「剥離・鉄筋露出」には露出した鉄筋の腐食を含むものとし、「腐食」などの変状としては扱わない。



写真番号

S-7.2.2

説明

頂版下面および化粧板に剥離が生じている。

衝突などの大きな外力によって、かぶりコンクリートが剥離している場合は、「剥離・鉄筋露出」、「変形・欠損」の2項目として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 S-7.2.3

説明

横梁の定着部に剥離が生じている。

剥離のみが生じているため、「剥離・鉄筋露出」、「定着部の変状」の2項目として扱う。



写真番号 S-7.2.4

説明

谷側柱にうきを伴う鉄筋露出が生じている。

この場合、「剥離・鉄筋露出」、「うき」の2項目として扱う。



写真番号 S-7.2.5

説明

縁石等のコンクリートに大きな欠損が生じている。

劣化等によるかぶりコンクリート部の脱落ではなく、衝突などの大きな外力による断面欠損のみである場合、「変形・欠損」として扱う。

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「剥離・鉄筋露出」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	剥離のみが生じている。
d	鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。
e	鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食又は破断している。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(1/6)

評価 c



写真番号	S-7.3.1
部材名	主梁 (SP-C-Mg)
備考	剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。



写真番号	S-7.3.2
部材名	横梁 (SP-C-Cr)
備考	剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。



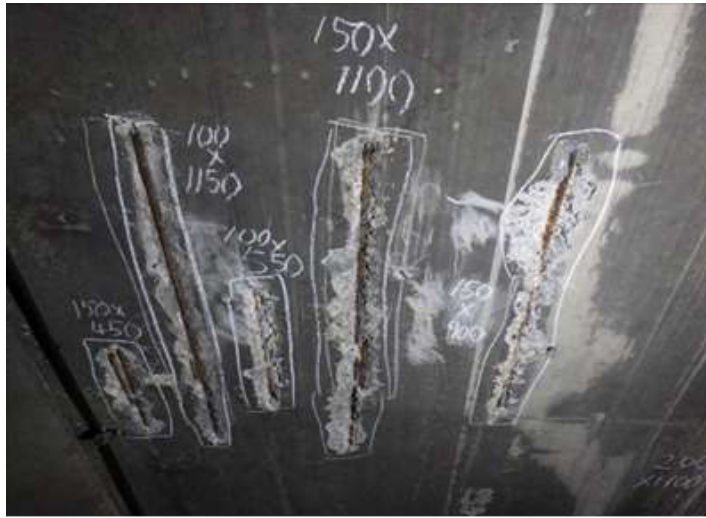
写真番号	S-7.3.3
部材名	横梁 (SP-C-Cr)
備考	剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。

(Ⅲ)変状程度の評価							
(2)評価例(2/6)	評価 c						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>S-7.3.4</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>谷側柱 (SP-C-Co)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。</td> </tr> </table>	写真番号	S-7.3.4	部材名	谷側柱 (SP-C-Co)	備考	剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。
写真番号	S-7.3.4						
部材名	谷側柱 (SP-C-Co)						
備考	剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>S-7.3.5</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>支承モルタル (B-C-Bm)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。</td> </tr> </table>	写真番号	S-7.3.5	部材名	支承モルタル (B-C-Bm)	備考	剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。
写真番号	S-7.3.5						
部材名	支承モルタル (B-C-Bm)						
備考	剥離のみが生じており、鉄筋露出はない。						
<p style="text-align: center;">—</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>—</td> </tr> </table>	写真番号	—	部材名	—	備考	—
写真番号	—						
部材名	—						
備考	—						

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(3/6)

評価 d



写真番号 S-7.3.6

部材名

頂版

(SP-C-Ds)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。



写真番号 S-7.3.7

部材名

主梁

(SP-C-Mg)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。



写真番号 S-7.3.8

部材名

横梁

(SP-C-Cr)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(4/6)

評価 d



写真番号 S-7.3.9

部材名

谷側柱

(SP-C-Co)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。



写真番号 S-7.3.10

部材名

谷側受台

(SB-C-Bs)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋の腐食は軽微である。

写真番号 —

部材名

—

備考

—

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(5/6)

評価 e



写真番号 S-7.3.11

部材名

頂版

(SP-C-Ds)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食している。



写真番号 S-7.3.12

部材名

頂版

(SP-C-Ds)

備考

鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食している。



写真番号 S-7.3.13

部材名

主梁

(SP-C-Mg)

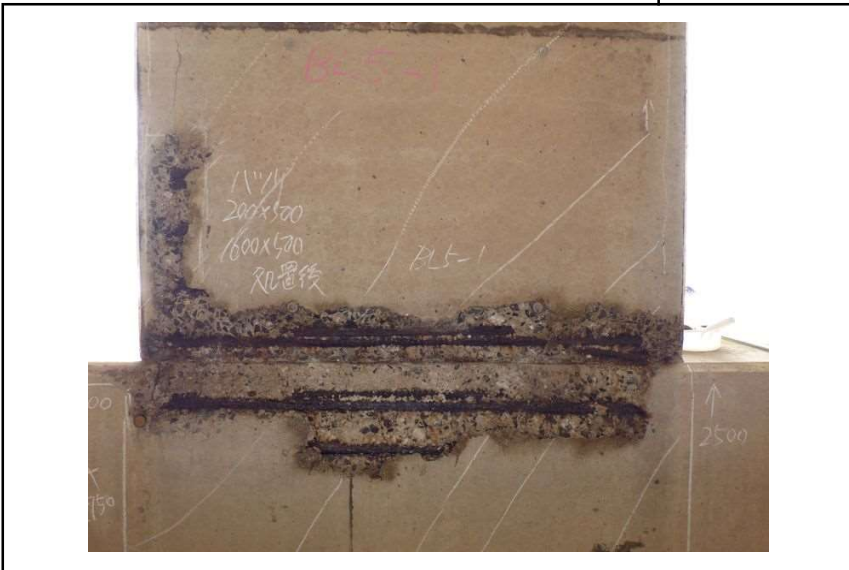
備考

鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食している。

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(6/6)

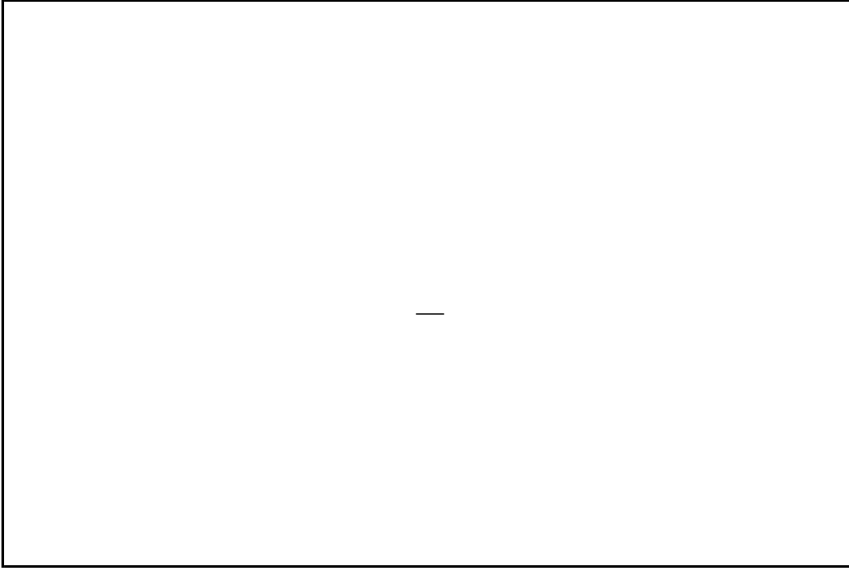
評価 e



写真番号	S-7.3.14
部材名	谷側柱 (柱基部) (SP-C-Co)
備考	鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食している。



写真番号	S-7.3.15
部材名	山側受台 (SB-C-Bs)
備考	鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食している。



写真番号	—
部材名	—
備考	—

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリートの打継目やひびわれ部等から、水や石灰分の滲出や漏出が生じている状態をいう。



写真番号 S-8.1.1
説明

頂版及び土留壁に漏水・遊離石灰が生じた例。



写真番号 S-8.1.2
説明

頂版の目地部から漏水・遊離石灰が生じた例。

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号	S-8.1.3
説明	
頂版（プレキャスト版）に漏水・遊離石灰が生じた例。	



写真番号	S-8.1.4
説明	
横梁に漏水・遊離石灰が生じた例。	



写真番号	S-8.1.5
説明	
谷側柱に漏水・遊離石灰が生じた例。	

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 S-8.1.6

説明
柱横梁の谷側面に漏水・遊離石灰が生じた例。



写真番号 S-8.1.7

説明
山側受台に漏水・遊離石灰が生じた例。



写真番号 S-8.1.8

説明
土留壁に漏水・遊離石灰が生じた例。

(II)他の変状との関係

- ◆ 排水不良などでコンクリート部材の表面を伝う水によって発生している析出物は、遊離石灰とは区別して「⑫その他」として扱う。また、外部から供給されそのままコンクリート部材の表面を流れている水については、「⑩漏水・滞水」として扱う。
- ◆ ひびわれ、うき、剥離など他に該当するコンクリートの変状については、それぞれの項目でも扱う。



写真番号	S-8.2.1
説明	
頂版のコンクリートより石灰分が析出し、主梁の表面の一部が腐食している。	
頂版は「漏水・遊離石灰」、主梁は「腐食」として扱う。	
ただし、溶融亜鉛めっき表面に生じる白錆は、変状として扱わないので、石灰分との違いに留意すること。	



写真番号	S-8.2.2
説明	
頂版のプレキャスト版の接合部から遊離石灰を伴う漏水が生じている。	
プレキャスト版で遊離石灰が生じている場合は、「漏水・遊離石灰」として扱う。	

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 S-8.2.3

説明

頂版の目地部から漏水が生じている。

外部から供給され、そのままコンクリート部材表面を流れているので「漏水・滞水」として扱う。



写真番号 S-8.2.4

説明

頂版から浸透水の析出が生じている。

外部から供給されそのままコンクリート部材の表面を流れている水については、「漏水・滞水」として扱う。



写真番号 S-8.2.5

説明

頂版端部のひびわれ部から漏水・遊離石灰が生じている。

ひびわれを伴う場合のコンクリートの変状は、「漏水・遊離石灰」、「ひびわれ」の2項目として扱う。

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 S-8.2.6

説明
 横梁の目地部から錆汁を伴う遊離石灰が生じている。
 遊離石灰および錆汁がみられる場合、「漏水・遊離石灰」として扱う。



写真番号 S-8.2.7

説明
 谷側柱に頂版上から漏水が生じている。
 コンクリート表面を伝う水によって汚れが生じている場合は、「漏水・滞水」として扱う。



写真番号 S-8.2.8

説明
 山側受台において、表面を伝う水によって析出物が生じている。
 受台前面のコンクリート表層から石灰分が供給されている場合、「漏水・遊離石灰」として扱う。

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「漏水・遊離石灰」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	ひびわれから漏水が生じている。 錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。
d	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。
e	ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている。 又は漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。

注) 打継目や目地部から生じる漏水・遊離石灰についても、ひびわれと同様の評価とする。

(Ⅲ)変状程度の評価							
<p>(2)評価例(1/5)</p>	評価 c						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>S-8.3.1</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版 (SP-C-Ds)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>ひびわれから漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。</td> </tr> </table>	写真番号	S-8.3.1	部材名	頂版 (SP-C-Ds)	備考	ひびわれから漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。
写真番号	S-8.3.1						
部材名	頂版 (SP-C-Ds)						
備考	ひびわれから漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>S-8.3.2</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>頂版（プレキャスト版） (SP-C-Ds)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>プレキャスト版の接合部から漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。</td> </tr> </table>	写真番号	S-8.3.2	部材名	頂版（プレキャスト版） (SP-C-Ds)	備考	プレキャスト版の接合部から漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。
写真番号	S-8.3.2						
部材名	頂版（プレキャスト版） (SP-C-Ds)						
備考	プレキャスト版の接合部から漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>S-8.3.3</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>山側受台 (SB-C-Bs)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>打継目から漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。 (注：漏水箇所を赤線でマーキングしている)</td> </tr> </table>	写真番号	S-8.3.3	部材名	山側受台 (SB-C-Bs)	備考	打継目から漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。 (注：漏水箇所を赤線でマーキングしている)
写真番号	S-8.3.3						
部材名	山側受台 (SB-C-Bs)						
備考	打継目から漏水が生じている。錆汁や遊離石灰はほとんど見られない。 (注：漏水箇所を赤線でマーキングしている)						

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(2/5)

評価 d



写真番号	S-8.3.4
部材名	頂版 (SP-C-Ds)
備考	目地部から遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。



写真番号	S-8.3.5
部材名	横梁 (SP-C-Cr)
備考	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。



写真番号	S-8.3.6
部材名	山側壁 (SP-C-Sw)
備考	ひびわれから遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。

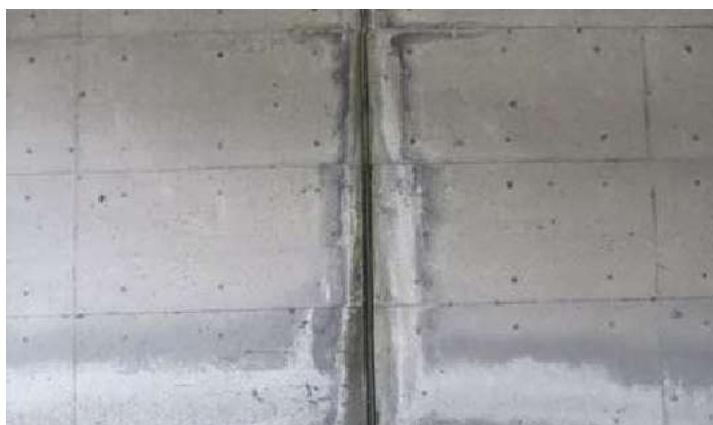
(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(3/5)

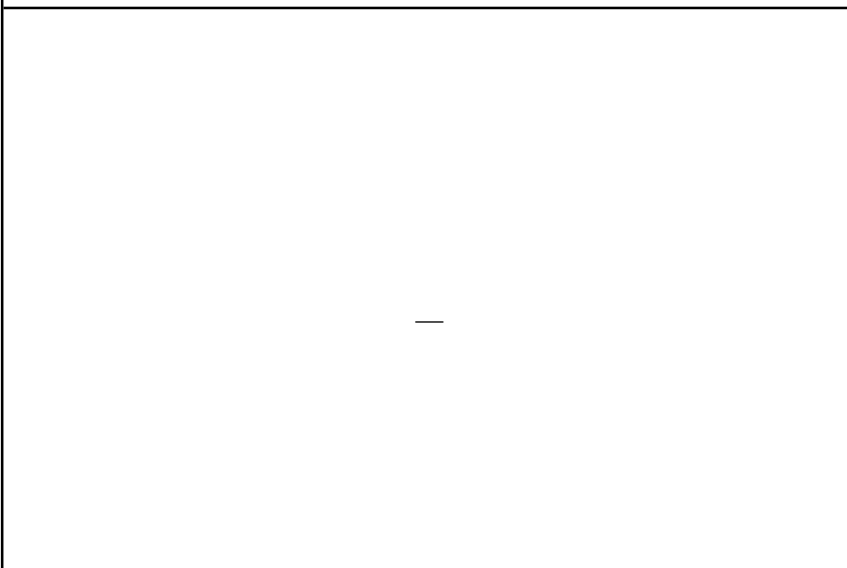
評価 d



写真番号	S-8.3.7
部材名	
谷側柱 (SP-C-Co)	
備考	谷側柱接合部から遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。



写真番号	S-8.3.8
部材名	
山側受台 (SB-C-Bs)	
備考	目地部から遊離石灰が生じている。錆汁はほとんど見られない。



写真番号	—
部材名	
	—
備考	
	—

(Ⅲ)変状程度の評価

(2)評価例(4/5)

評価 e



写真番号 S-8.3.9

部材名

頂版
(SP-C-Ds)

備考

ひびわれから著しい遊離石灰が生じ、錆汁の混入が認められる。



写真番号 S-8.3.10

部材名

頂版
(SP-C-Ds)

備考

ひびわれから漏水が生じ、錆汁の混入が認められる。



写真番号 S-8.3.11

部材名

頂版 (プレキャスト版)
(SP-C-Ds)

備考

プレキャスト版の接合部から遊離石灰が生じ、錆汁の混入が認められる。

(Ⅲ)変状程度の評価									
(2)評価例(5/5)	評価 e								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>S-8.3.12</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>横梁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(SP-C-Cr)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>ひびわれから遊離石灰が生じており、錆汁の混入が認められる。</td> </tr> </table>	写真番号	S-8.3.12	部材名	横梁		(SP-C-Cr)	備考	ひびわれから遊離石灰が生じており、錆汁の混入が認められる。
写真番号	S-8.3.12								
部材名	横梁								
	(SP-C-Cr)								
備考	ひびわれから遊離石灰が生じており、錆汁の混入が認められる。								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>S-8.3.13</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>山側受台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(SB-C-Bs)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>打継目から漏水が生じ、錆汁の混入が認められる。</td> </tr> </table>	写真番号	S-8.3.13	部材名	山側受台		(SB-C-Bs)	備考	打継目から漏水が生じ、錆汁の混入が認められる。
写真番号	S-8.3.13								
部材名	山側受台								
	(SB-C-Bs)								
備考	打継目から漏水が生じ、錆汁の混入が認められる。								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">写真番号</td> <td>S-8.3.14</td> </tr> <tr> <td>部材名</td> <td>底版</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(SB-C-Ff)</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>打継目から著しい遊離石灰が生じている。</td> </tr> </table>	写真番号	S-8.3.14	部材名	底版		(SB-C-Ff)	備考	打継目から著しい遊離石灰が生じている。
写真番号	S-8.3.14								
部材名	底版								
	(SB-C-Ff)								
備考	打継目から著しい遊離石灰が生じている。								

(I) 一般的性状・変状の特徴

- ◆ コンクリート部材の表面付近がういた状態をいう。
- ◆ コンクリート表面に生じるふくらみなどの変状から目視で判断できない場合にも、打音検査において濁音が生じることで検出できる場合がある。



写真番号 S-9.1.1

説明
頂版にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 S-9.1.2

説明
頂版にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 S-9.1.3

説明

主梁にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

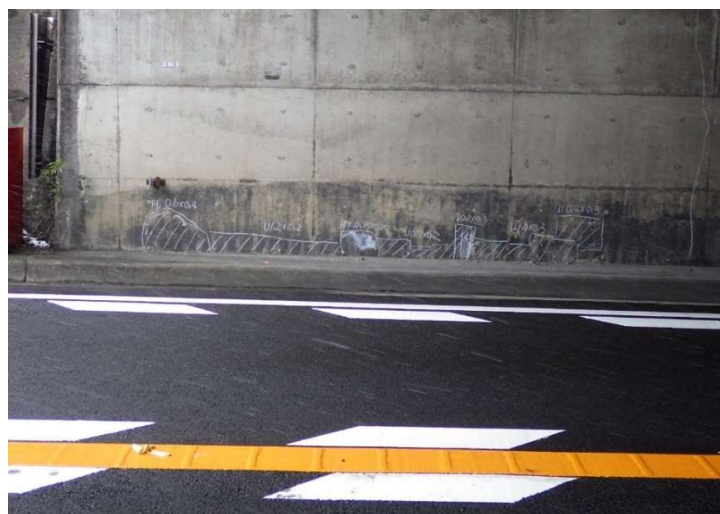


写真番号 S-9.1.4

説明

横梁の目地部にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 S-9.1.5

説明

山側壁にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(I) 一般的性状・変状の特徴



写真番号 S-9.1.6

説明

谷側柱の排水管取付部付近にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 S-9.1.7

説明

谷側柱の柱基部にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)



写真番号 S-9.1.8

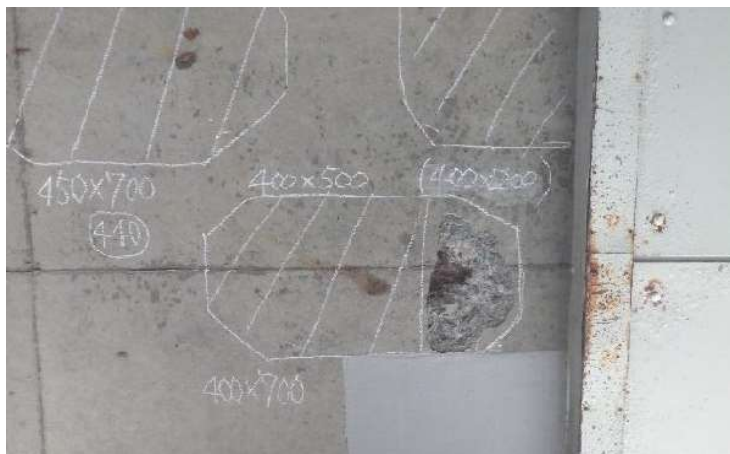
説明

山側受台の支承部付近にうきが生じた例。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

(Ⅱ)他の変状との関係

- ◆ ういた部分のコンクリートが剥離している，又は打音検査により剥離した場合には，「剥離・鉄筋露出」として扱う。



写真番号	S-9.2.1
説明	
頂版にうきと剥離が生じている。	
(注：うきをチョークでマーキングしている)	
同じ箇所でうきと剥離が混在している場合，「うき」，「剥離・鉄筋露出」の2項目で扱う。	



写真番号	S-9.2.2
説明	
谷側柱付け根部にうきが生じている。	
打音検査により剥離した場合には，「剥離・鉄筋露出」として扱う。	

(Ⅱ)他の変状との関係



写真番号 S-9.2.3

説明

表面を塗装した谷側柱のコンクリートにうきが生じている。

(注：うきをチョークでマーキングしている)

この場合、「うき」、「補修・補強材の変状」の2項目で扱う。なお、塗装などの被覆材料のみが剥離している場合は、「補修・補強材の変状」として扱う。



写真番号 S-9.2.4

説明

塗装した谷側柱にひびわれおよびうきが生じている。

この場合、「うき」、「ひびわれ」、「補修・補強材の変状」の3項目で扱う。



写真番号 S-9.2.5

説明

PC定着部にうきが生じている。

この場合、「うき」、「定着部の変状」の2項目で扱う。

(Ⅲ)変状程度の評価

- ◆ 変状程度の評価は、「うき」の変状評価基準に基づいて行う。

(1)変状評価基準

1) 変状程度の評価区分

区分	一般的状況
a	変状なし
b	—
c	—
d	—
e	うきがある。

(2)評価例

区分 (e) の評価は、「(Ⅰ) 一般的性状・変状の特徴」を参照のこと。